

さいたま輝き荻野吟子賞第15回受賞者による活動紹介  
ものづくりコーディネーター会社経営 石田七瀬さん

## 1 自己紹介

第15回さいたま輝き荻野吟子賞を受賞させていただきました石田七瀬です。

本日は、私が運営しております NANASE 株式会社の事業内容についてお話をさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

まずは、私の経歴を簡単に紹介させていただきます。

プレス工場ですとか、機械製造メーカーの方で購買として約10年以上経験してきました。機械製造メーカーでは、本当に入った時はボルトもナットも知らないし、図面なんて、これ何て書いてあるの?というような、本当にずぶの素人でした。

ただ、協力企業さんの御協力もあって、図面が見られるようになったりとか、加工方法が分かったりとか、あと機械のことを知ったりとか、そういう形で、本当に入社した当初は、赤字だらけの会社だったんですけど、100機種以上の黒字化に成功したりとか、あとはコストだけでなく、納期コントロールをうまくすることによって、作業効率を上げたりすることに成功してきました。

私生活では、7人の子供の母です。上は19歳から下は4か月までおります。7人いると本当に毎日が動物園みたいで、うちの親は私のことをよく猛獣使いと言っています。本当に毎日にぎやかで、いろんな事件がありながら暮らしております。

## 2 NANASE 株式会社の紹介

弊社の紹介なんですけど、2018年7月に設立しました。加工先ですとか、製作先を紹介する、製造業向けのマッチングを主にやっております。なぜこの会社をつくったのという理由になるんですけど、やはり男の子が5人うちにはいるんですね。男の子ってどちらかというプラモデルが好きだったりとか、ものづくりが好きなんです。で、自分の子供たちがものづくりしたいと思った時に、ものづくりが出来る環境であってほしいな。町工場さんがすごく減少している世の中ではあるんですけど、自分がやりたいと思った時に出来る町工場さんがたくさんある世の中になっていたらいいなと思って立ち上げた会社になります。

町工場さんのお手伝いとしては、工場内の環境の改善であったりとか、あと人材育成のお手伝いですとか、ものづくりに関するイベントなどを行っております。

簡単にご紹介させていただくと、加工先を探す企業さんがあったとしますよね。で、弊社の方から技術力のある町工場さんをお繋ぎさせていただくことをさせていただいています。私たちは自分たちのことをものづくりコーディネーターと言っています。うまくその作業が回るように、得意なところが得意なことをするということが、やはり一番コストがかからなかったりとか、納期がかからないことですので、得意や強みを生かしたマッチングを実現させていただいています。

こちらが弊社の製作の内容のご紹介なんですけど、左側にあるのが非常動力装置と言いまして、例えば停電とか何か事故があったときに、動力を供給する機械になります。この機械の場合だと、この中に使われる機器の選定ですとか、設計、製作、組み立て、納品まで、一貫して弊社の方で請け負わせていただきました。分かっている方がやるのが早いので、いろんな企業さんを繋

ぎながら、作り上げた製品になります。

この右上にあるのが、町工場ツアーというか町工場見学会なんですけど、このように子供向けに見学会を開催したりとか、下は町工場さんのプレゼン大会で参加者の方との様子なんですけど、自分の会社をアピールすることが出来ない方がたくさんいますので、その辺をうまくフォローすることによって、受注につなげたりということもあります。町工場さんが抱える問題というのは本当に多岐に渡ります。人材不足だとか、高齢化、あと、うちのネットワークの中でも一番多い問題としては、うちなんて他と変わらないよ、そんな強みとか特色なんて無いよって方がいっぱいいるんですけど、そういうところのフォローをさせていただいています。

町工場さん最盛期から見ると、日本全国で70%以上減少しています。私たちが扱っている製品、例えばここにある家電とかスマホとか車なんですけど、その中には町工場で作られたものがいっぱい使われているんですね。このまま減っていくとこういうものも使えなくなってしまうので、うちの方からいろんなアプローチをすることによって、問題を解決して、町工場さんたちに元気になってもらいたいなと思っております。私たちは本当に町工場のかかりつけのお医者さんになりたいと思っています。

そのような中で、私はアピールをしたりとか、町工場さんが出来ない部分を代弁者として伝えさせていただいています。ビジネスコンテストに出たりとか、あとはこういう風に今回みたいに荻野吟子賞をいただいたりとかっていうことで、いろいろご協力をさせていただいています。

### 3 おせっかいマルシェの紹介

今日は弊社の一つ、マッチングでは無いんですけど、新しく作ったサイトの紹介をさせていただきたいと思います。

おせっかいマルシェというサイトの紹介なんですけど、企業の方とか個人、お店の方とかがおせっかい先生という立場になって、くらしに役立つ情報を発信しているサイトです。本当に昔は地域の子育てって、お年寄りが見守ってくれたり、地域の方が見守ってくれたりしましたよね。うちの子供が多いので、目が届かない範囲ですごくたくさんあるんですけど、本当に公園に行ったときに知らない人に「お宅のお子さんてね、こういうことが出来てすごいんだよ。」そういう話を聞いたりするのがすごくうれしくて、日々子育てに追われ、仕事に追われていると、ああそういうところ見てなかったんだな、でも代わりに見てくれる人はいるんだなっていうことがありがたく思っているんですけども、そういうちょっと助けてほしいなとか、便利な情報が知りたいな、生活を楽しくしたいなという皆さんに、おせっかい先生がお役立ち情報を届けているサイトになります。

なぜこのサイトを作ったかという理由にもなるんですけど、コロナ禍の時ってすごく大変ですよ。今ももちろん大変だと思うんですけど、始まった当初、約1年前、学校が休校になるし、子供たち外出ちゃいけないから家の中で、どんどんストレスがたまっちゃう日々でした。

そういう時に正しい情報を届けられる、そういう時であってもいいことってあるんだってことが届けられるものがあつたらいいなと思っていて、このサイトを作りました。

やっぱりみんな大変ですもんね。SOS 出したい時に「助けて。」って言える存在が中々ないと思うんですが、このサイトの中に30名の先生が登録されているんですが、先生達ちょっとずつ色々なことを伝えてくれています。例えばある先生は、(今は)叱っちゃいけない、怒っちゃいけない子

育てっていうけど、怒っていいんですよ、みたいなことを書かれていたりとか、ある先生は、おいしい、家族みんなが元気になるご飯を紹介したりとか、私も子育てのほんのちょっと豆知識とか、例えばお母さんが大変な時、悲しい時、色んなことがあっていいんだよ、とかとお伝えたりとか、たまには子供に何かを任せるってこともいいことですよってことを言ったりとか、してます。

コラムだけじゃなくって、この中ではワークショップだとか、あとおせっかい先生達の通販ページとかもあって、おせっかい先生達が販売している、例えばワンピースだとか、うちの方で販売している部品キット、工作キットみたいなものの販売もしているページもあります。

ご紹介させていただこうと思うんですけど、助け合える存在を増やしたい、くらしを楽しみたい、そんなおせっかい先生達が集まるマルシェです。ちょっと先生の御紹介もさせていただきます。

今30名位先生が登録されています。これはほんの一部なんですけど、こういう形で先生たちがいらっしやいます。その先生達がこういう形で、あの、豚骨スープの活用法とかありますけど、こういうご紹介をさせていただいています。

その人の伝え方でその人らしく伝えましょと、私、書いているんですけど、そういう風に、本当におせっかいな内容かもしれないですけど、何か皆さんにうまく伝えればいいなという風に思っています。こんな感じでご紹介させていただきました。

やっぱり7人子供がいて、日々本当にいろんな問題があります。家の中めちゃくちゃだったりとか、落書きされたりとかっていうことは本当に日常茶飯事で、でも、やっぱり仕事もしなければいけないし、育児もしなければいけないし、でも一人じゃ絶対出来ないんですよ。いろんな方のお力を借りながら、活動させていただいています。地域の方に助けられることもありますし、ファミリーサポートさんにお迎えにいただいたりとか、ちょっと子供たちを見ていただいたりすることもあります。やっぱり実家が遠いので、いろんな方の御協力をいただきながら、活動させていただいています。

そんなところで、みんな一人で頑張らなくていいんだよって私は思っています。得意な方が得意なことをする、得意な方が得意な方法でやるが一番うまく回ったりとか、うまくいく方法じゃないかなと思っています。

ちょっと今手元に娘がいるので、声が入ったりとかしています。申し訳ないです。今自宅で仕事をしている傍らに子どもがいる環境で、やっぱり大変なことっていっぱいあるんですよ。でも、うまくSOSが出せる人がいると、またそれはそれで変わったりとか、ちょっとでも自分の肩の荷が下りて、きっとホッとできることがある、いい環境になっていると思っています。

あの、子供がたくさんいるからというワードをいっぱい出してはいるんですけど、いろんな方の力を借りるのが一番いい方法だと私は思っています。一人で頑張りが過ぎると、やっぱり一人のキャパって少ないんですよ。考えられることもちっちゃいし。でも、たくさんの方の力が合わさると本当にすごく大きな力になります。

おせっかいマルシェについて今日紹介させていただきましたけど、おせっかいマルシェはそういうサイトです。よく言われるんです。おせっかいマルシェって、本当七瀬さんそのものだね。

私もよく町工場さんに対してもやっていますし、おせっかい先生に対してもやっていますけど、おせっかい大好きなので、そういうちょっとしたおせっかいでいろんな人を助けられたらいいなと思っ

ています。

今回荻野吟子賞をいただいた、本当の一番大きな理由は、自分が出来ること、自分がやらなきゃいけないこと、使命っていうのは、こうやって子育てしながらでも、女性でありながらでもいろんなことが出来るよってお伝えするのが私の使命だと思っています。

これからもいろんなことをしていこうと思っていますし、まだまだやりたりないこともたくさんあります。いろんな方が少しでもお助け出来たらいいなと思います。もちろん町工場さんをもっと広げていけたらいいなと思います。

今日はありがとうございました。